

《履修上の留意事項》実施・日程は未定

《担当者名》Shaun Hoggard shaun@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

国際化社会と言われる現代社会の中では英語をコミュニケーションの手段として活用する能力が強く求められている。本学でも英語の指導に関してはコミュニケーションに通じる英語教育を重視している。言うまでもなく、英語を学習している者が実際に英語圏に出かけて英語の訓練をすることには計り知れないほどの価値がある。この科目は英語圏の大学で英語の授業を受け、教室の外で実際に使用し、さらに英語圏の文化をも直接に体験するための講座である。

この科目を選択する者は、本学の長期休業中にカナダの指定大学で約2週間の研修講座に参加する。この科目を選択して所期の目標を達成した者は、第2学年に開講される英語C、英語D、英語コミュニケーションBのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

【学修目標】

1. 英語圏における語学研修で英語によるコミュニケーションを実践する。
2. 異文化を理解し、英語圏での異文化を実際に体験する。(滞在中はホームステイ)

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---------------|------------------------|--|---------|
| 1) 2 | 事前研修 (本学での講義およびセミナー) | (1) コース・オリエンテーション。 国際化社会と異文化の理解 (講義) (2) 訪問国研究[歴史、地理、政治、経済] (セミナー) (3) 訪問国の教育と研修先大学 (講義及びセミナー) (4) 英語コミュニケーションの実践方法 (グルーピングと演習) | Hoggard |
| 3) 12 | 現地研修 | (1) 語学研修 (午前、週4日。聴く・話す訓練を中心に) (2) 特別プログラム (午後、病院見学、学部訪問等) (3) 自然体験旅行 (4) 史跡訪問等 (5) その他 (交流会、送別会等) | Hoggard |
| 13) 15 | 事後研修 | レポートの作成と提出 | Hoggard |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- (1) 事前研修の参加態度、および事後研修の提出レポート(50%)
- (2) 現地での研修への参加態度、小テスト及び最終テスト(50%)

合格した者には英語C、英語D、英語コミュニケーションBのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

【学修の準備】

各研修において指示に従い、必要な下調べや準備・予習をすること。現地研修においては、予習20分、復習・課題作成40分。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。